

宝和ホールディングス

社員に向け SDGs 講座 中銀福山支店が講師担当

グループ全体の乗務員を除く社員に対し5回に分けて「SDGs(持続可能な開発目標)講座」を開講。最終

第一種貨物利用運送事業・倉庫業・指定自動車整備事業の宝和ホールディングスグループ(福山市二文字町、藤本健代表)左写真右側、電084・954・9465)は2月、

「ちゅうぎんサステイナビリティ・リンク・ローン」を、同ホールディングスが昨年2月に1億円借り入れたことがきっかけ。同融資を活用して、二酸化炭素排出量を削減することができ



中国銀行が環境負荷軽減に与える持続可能な取り組みに融資を行う

回が本社で2月17日に行われた。講師は中国銀行福山支店が担当(写真右)。

同講座が行われたのは、

「ダブル連結トラック」を2台導入するなど、環境保全を推進するにあたり、社員が正しくSDGsを理解することが必要と、同支店側に講座の開講を依頼、内容を共同で作成し、実現した。同支店では初の取り組みだという。

SDGsの基礎知識をはじめ、同ホールディングスが、これまで取り組んできた、飲料を購入すると途上国へ水が寄付できる自動販売機の導入や、地元サッカーチーム「福山シティFC」のスポンサー活動などをSDGsに関連付けて分かりやすく解説した。